

岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

岩見沢 アール・ブリュット ギャラリー

住 所 岩見沢市7条西1丁目7 岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館1F

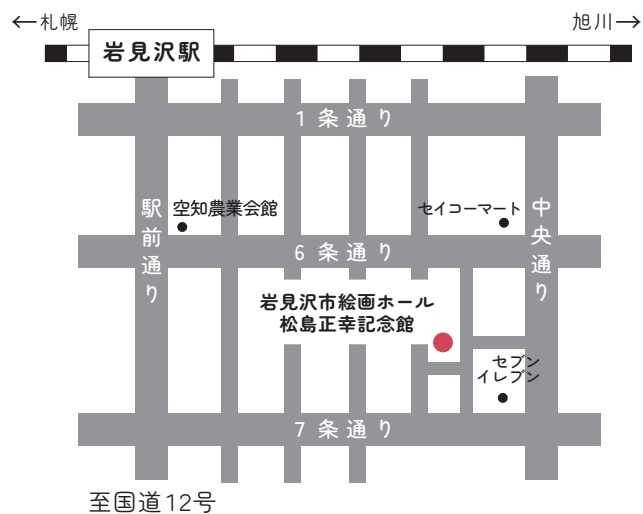
開館時間 10:00～18:00（木曜日は13:30～18:00）

休 館 日 水曜日、祝日の翌日、7月15日～7月22日（館内整理期間）

入 館 料 一般300円 高校生・大学生210円 中学生以下 無料

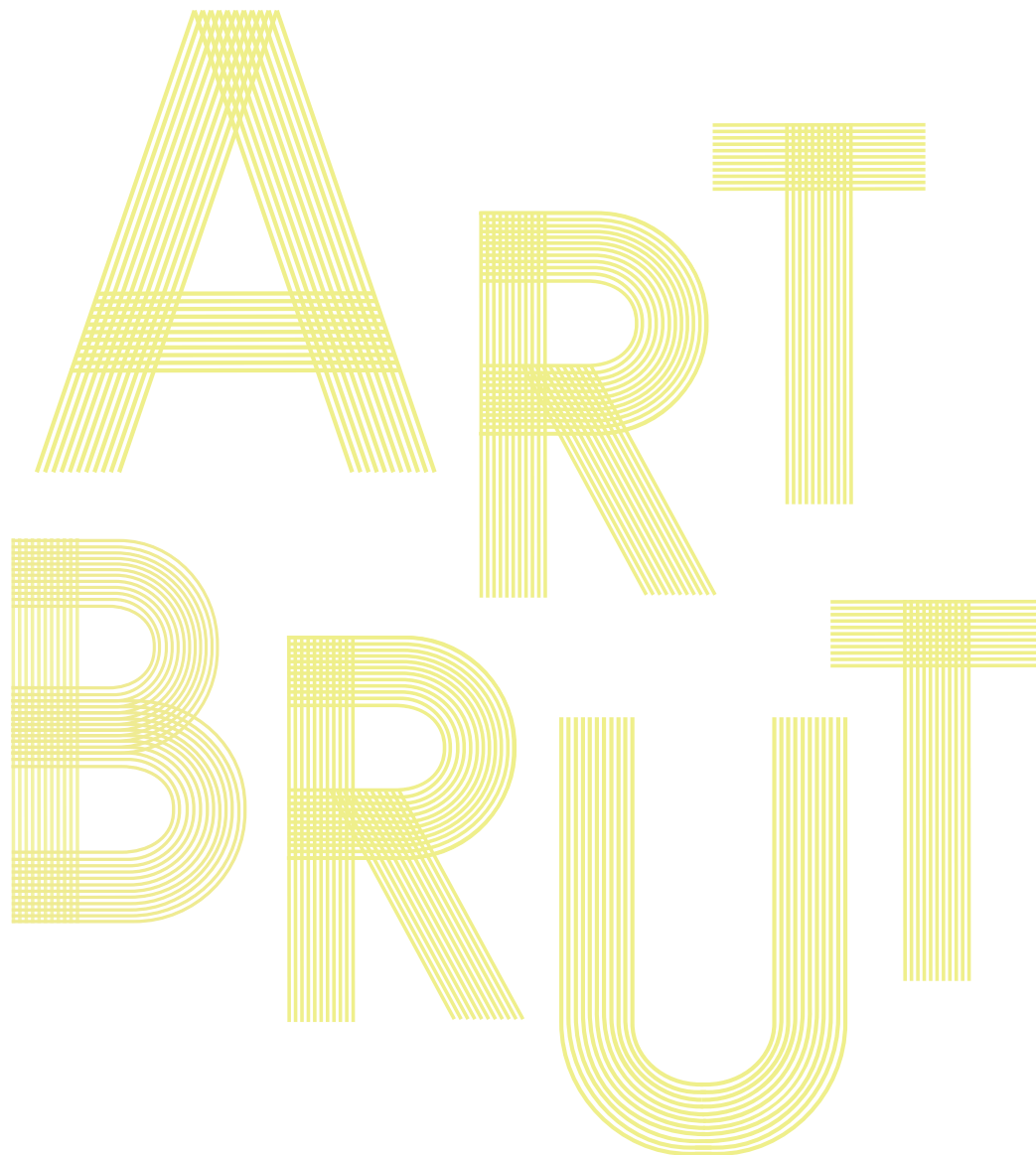
障がいのある方は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示下さい。

お問合せ 岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館 TEL 0126-23-8700



※駐車場あり

岩見沢市絵画ホール
展覧会情報



岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

岩見沢 アール・ブリュット ギャラリー

岩見沢アール・ブリュットギャラリーについて

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、障がいのある人のスポーツだけではなく、芸術文化も盛り上げようという機運が全国的に高まり、岩見沢市においても、「北海道アール・ブリュットフォーラム」や「岩見沢アール・ブリュット芸術祭2019」等といったイベントを開催し、多くの人にご来場いただきました。

その後、間もなく新型コロナウイルス感染症の影響により、大勢の人に来てもらうイベントの開催が困難になるなか、こうした取り組みを一過性のものとせず、アール・ブリュットの魅力や情報を発信するため、中心市街地の空き店舗を活用して、2020年9月「岩見沢アール・ブリュットギャラリー」を開設し、2025年3月閉館までの4年半、市内外を問わず障がいのある人の様々な作品を全28回の企画展でご紹介させていただきました。

岩見沢市では、誰もが、障がいの有無に関わらず、共に学び、生きる共生社会の実現に向けた取り組みとして、これからもアール・ブリュットを通してアートに境界はないことを、すべての人に知っていただきたいという想いを込め、岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館内に岩見沢アール・ブリュットギャラリーを移設し、アール・ブリュットを障がい者の芸術ではなく、一つの芸術として皆様に発信してまいりたいと考えています。誰でも気軽に「見て・感じて・学べる」岩見沢の芸術を楽しんでいただけたら幸いです。

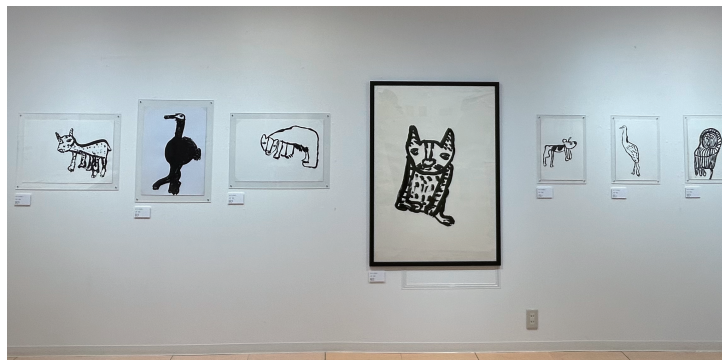
2025年6月 岩見沢市
岩見沢市教育委員会



「アール・ブリュットー日本人と自然」展（2020年）

アール・ブリュットとは

「アール・ブリュット」は、1945年にフランスの画家ジャン・デュビュッフェが提唱した言葉で、直訳すると“生の芸術”という意味です。彼は、精神障害のある人や正規の美術教育を受けていない人々が内面にあるものを無垢に率直に表現する芸術をアール・ブリュットと呼んで高く評価しました。近年、日本においても障がいのある人の創作に関心が高まっています。



「想いがめぐる vol.2」展（2025年）